

機能材料学研究室

本研究室は現在（2026年4月）、橋本直幸教授、磯部繁人准教授、岡弘准教授、孫浩田アンビシャス特別助教、小林薫秘書に加え、博士課程学生4名（社会人2名、中国人2名）、修士課程学生10名、学部4年生6名、特別聴講生2名、インターンシップ生1名の計28名で構成されています。主要な研究テーマは、これまで通りエネルギー炉構造材料（RAFM、ODS）および水素貯蔵材料の開発研究ですが、最近は上述の研究にハイエントロピー合金(HEA)を応用した研究、異種接合体の作製、腐食・高温酸化特性の向上を目的とした課題や積層造形法、放電プラズマ焼結法、コールドスプレー法などを利用した革新的かつ挑戦的な材料開発研究を進めています。研究室のイベント活動は相変わらずで、今年度からはコロナ前の状態に戻るのではないかと期待しています。一方、連絡会や研究会、雑誌会などは、対面とオンラインを併用するスタイルを踏襲し、どこにいても自ら積極的に発言・参加できるような態勢を敷いています。こういう研究室内の環境とは別に、学生が他大学や学外研究機関等で実験させて頂く機会も増えており、学生らが経験値を上げて飛躍的に成長する姿も見られ、指導者一同非常に嬉しい限りです。

研究室の近況は、研究室のホームページ <https://loam.eng.hokudai.ac.jp/>に掲載しております。お手隙の時間に、ご覧頂きたく存じます。また、札幌にお越しの際には、是非研究室にもお立ち寄り頂き、近況についてお知らせください。宜しくお願い致します。

